# エコアクション21環境経営レポート

## 2023年度

対象期間 2023.4.1~2024.3.31





株式会社イー・アール・シー高城

作成日:2024年7月24日

## 目次

- ●表紙
- ●目次
- ●環境経営方針
- 1. 組織の概要
- 2. 環境経営目標
- 3. 環境経営計画
- 4. 環境経営目標に対する実績と評価
- 5. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
- 6. 環境保全活動
- 7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
- 8. 代表者による全体評価と見直し・指示

## 環境経営方針

#### <基本理念>

株式会社イー・アール・シー高城は、事業活動全般において、地球環境の保全を重視し、循環型社会形成を担う企業として、地域住民への安心・安全を提供し、環境に優しい社会の構築に全社員で積極的かつ継続的に取り組みます。

#### く方 針>

- 1. 当社に適用される環境関連の法規を遵守します。
- 2. 以下の項目を重点目標とし、業務を安全かつ、適正に行い環境負荷の低減に努めます。
  - (イ)二酸化炭素排出量削減
  - (口)廃棄物排出量削減
  - (ハ)総排水量削減
  - (二)化学物質使用量削減と適正処理
  - (ホ)早期安定化に向けた維持管理の各種取り組み
- 3. 環境経営目標及び、環境経営計画を定め、環境マネジメントシステムによる継続的活動に 努めます。
- 4. 社会とのコミュニケーションを図り、地域社会との共生を目指します。
- 全社員で活動できるよう周知し、またその教育を行い、環境保全意識の向上に努めます。
- 6. この活動全体の定期的な確認及び、見直しを実施致します。

以上の内容についてここに誓約いたします。

2024年7月1日 改定 株式会社イー・アール・シー高城 代表取締役 芳野 真弘

#### 1. 組織の概要 (2024年3月31日現在)

◆会社名 株式会社イー·アール·シー高城

◆代表者名 代表取締役 芳野 真弘

◆所在地 〒885-131 宮崎県都城市高城町四家831番地5

TEL (0986)53-9100 FAX (0986)53-9111

◆創立 2000年12月22日

◆事業内容 管理型最終処分場の運営(2005年12月2日開業)

産業廃棄物収集運搬業・処分業

特別管理産業廃棄物収集運搬業·処分業 一般廃棄物処分業 汚染土壌処理業

◆事業の規模 資本金 450百万円

売上高 売上高区分 C (10億円以上)

従業員数 25人

●管理型最終処分場【ERCエコセンター】

(設置許可 シレイ235-17-1 2003年11月5日、 変更許可 シレイ24935-18-3 2014年6月16日)

- ・敷地面積 21万㎡ 埋立面積 5.6万㎡
- ・埋立容量 102万㎡ (残余容量 24万㎡、2024年3月末時点)
- ・埋立方式 サンドイッチ方式、セル方式
- ・遮水構造 二重遮水シート(5層構造)
- ●浸出水処理施設
- ・生物処理、物理化学的処理、 膜処理システムーDTモジュールユニット
- ·浸出水調整槽 28.100㎡
- ·処理能力 180㎡/日
- ●埋立車輌、収集運搬車両、その他

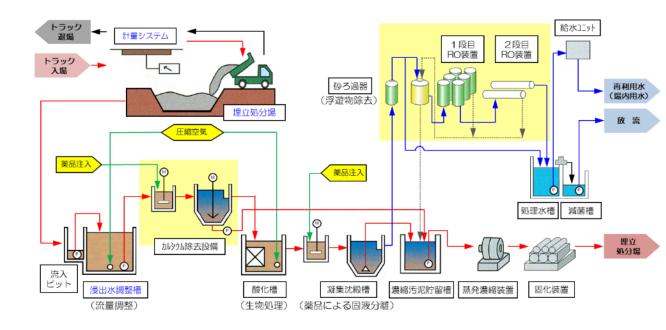
・バックホー 3台
 ・ホイールローダ 1台
 ・散水車 1台
 ・2トンダンプ 1台

●管理棟(事務所) 298m<sup>2</sup>

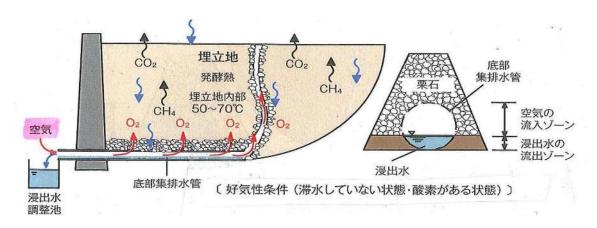
●処理実績

	2022年度	2023年度
産業廃棄物	47,354t	50,378t
特別管理産業廃棄物	439t	398t
一般廃棄物	184t	370t
汚染土壌(土対法外含)	2,311t	1,935t

## ◆処理施設のフロー図



## ◆準好気性埋立の仕組み



(出典:産業廃棄物最終処分場の環境管理 発行:社団法人全国産業廃棄物連合会)

## ◆許可及び登録

#### 産業廃棄物処分業許可

									廃勇	€物の	種類	İ					
都道府県名	許可番号	許可期限	燃え殻	污泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	陶磁器くず コンクリートくず及び	鉱さい	がれき類	ばいじん	13号廃棄物
宮崎県	04533122537	R7.10.24	•	0	•	0	•	•	•	•	•	•	0	•	0	•	•

- ※ ◎石綿含有産業廃棄物を含む。
- ※ ▲タールピッチに限る。

#### 特別産業廃棄物処分業許可

都道府県名	하고종묘	許可番号 許可期限	
1	許可留亏	計可規限	廃石綿等
宮崎県	04583122537	R7.11.29	•

#### 一般廃棄物処分業許可

			廃棄物の種類										
市町村名	許可番号	許可期限	燃え殻	廃プラスチック類	紙が	木くず	繊維くず	不要物のでは、一般では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	ゴムくず	金属くず	陶磁・でず	類する不要物	しないものし、股廃棄物に該当あってこれらの一般廃棄物に該当あってこれらの一般廃棄物に該当がいじん又はこれらの一般廃棄物
都城市	第11号	R7.03.31	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•

#### 汚染土壌処理業許可

都道府県名	許可番号	許可期限	受け入れられる 特定有害廃棄物	受け入れられる 特定有害物質の汚染状態
宮崎県	0450010001	R9.02.05	第一種、第二種及び 第三種特定有害廃棄物	第二溶出基準以下とする

#### 産業廃棄物収集運搬業許可

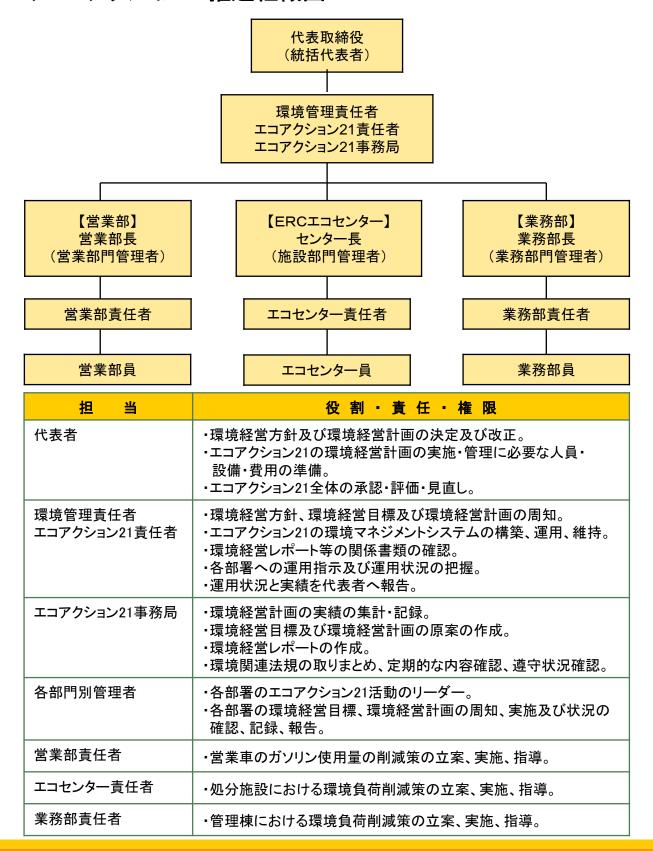
									廃勇	<b>€物</b> σ.	種類	į					
都道府県名	許可番号	許可期限	燃え殻	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	おうえくず、コンクリートくず及び陶磁	並さい	がれき類	ばいじん	13号廃棄物
宮崎県	04503122537	R8.11.30	•	0	•	0	•	•	•	•	•	•	0	•	0	•	•
鹿児島県	04608122537	R8.12.03	•	0	•	0	•	•	•	•	•	•	0			•	•
福岡県	04000122537	R7.01.19	•	•	•	0	0	0	0	•	•	•	0			•	•
熊本県	04305122537	R6.11.25	•	•	<b>A</b>	0	•	•	•	•	•	•	0	•	0	•	•

- ※ ◎石綿含有産業廃棄物を含む。
- ※ 〇石綿含有産業廃棄物を含み、農業用廃ビニールを除く。
- ※ ▲タールピッチに限る。
- ※ 福岡県の「廃プラスチック類」「金属くず」「ガラスくず等」については、自動車等破砕物をを含む。

#### 特別産業廃棄物収集運搬業許可

初送広间夕	許可番号	許可期限	廃棄物の種類	
│ 都道府県名 │ │	計り留写	計り規限	廃石綿等	
宮崎県	04553122537	R8.11.30	•	
鹿児島県	04658122537	R8.12.03	•	

## ◆エコアクション21推進組織図



## 3. 環境経営計画

		環 境 経 営 計 画	
C	D2排出量の削減	具体的な手段	関連部署 (責任者)
	電気使用量の削減	・処分場の雨水対策 シートを用い埋立区画の養生を行うことで雨水を排除。 これにより浸出水を減らし、水処理の電力使用量を削減。 ・準好気性埋立の実施 埋立した廃棄物内を好気性に保つことで、浸出水(原水) の水質レベルが向上し、水処理の電力使用量を削減。 ・管理棟内の節電 消灯・減灯の実施。エアコンのエコ運転(夏季26~28℃、 冬季20~22℃)。事務所内でのクールビズ・ウォームビズの 実施。省エネ製品への転換の検討。	エコセンター 業務部 (エコセンター長)
	ガソリン使用量の削減	・社有車のガソリン使用量をデータ化、使用者の意識向上に努める。エコドライブの実施により、燃費の向上・ガソリン使用量を削減。 ・低燃費車・ハイブリッドカーの使用継続。	エコセンター 業務部 営業部 (業務部長)
	軽油使用量の削減	・重機のエコ運転、効率的な埋立処分計画により軽油使用量 を削減。	エコセンター (エコセンター長)
上	水道使用量の削減	・節水の実施。 蛇口に節水の呼びかけを掲示し、節水意識を向上。 洗車時の節水に努める。	業務部 (業務部長)
廃	棄物排出量の削減	・廃棄物再資源化に取り組む。分別、リサイクル。	業務部 (業務部長)
	学物質の適正使用・ 理	・薬品の購入量を管理、法規制を遵守した適正使用を実施。 ・水質分析の実施、結果の管理。	エコセンター (エコセンター長)
	託した産業廃棄物の 正処分	・処理基準、マニフェストの管理等、法を遵守した廃棄物の 受入処理。 ・粉じん、騒音、振動、悪臭等を発生させない処分方法の実施。	エコセンター (エコセンター長)
処	分場の早期安定化	・受入廃棄物の管理(展開検査等による性状確認) ・埋立部の撹拌による均質化やガス抜き管の設置、シート キャッピングによる雨水排除に努め、準好気性埋立の推進	エコセンター (エコセンター長)

### 4. 環境経営目標に対する実績と評価

	項	目		目標値	実績値	評価
	7	П		2023年度	2023年度	рт іші
  ☆二酸化炭素	排出量	総量	kg-CO <sub>2</sub> /年	254,095	290,925	×
人—政门及来	T Ш <u>—</u>	処分量当たり	kg-CO₂/百トン	505	547	8%超過
	●水処理施設	総量	kg-CO <sub>2</sub> /年	114,993	149,846	×
電力	<b>U</b> 小处垤	処分量当たり	kg-CO₂/百トン	229	282	23%超過
电力	<b>②</b> 管理棟	総量	kg-CO <sub>2</sub> /年	18,638	16,495	0
	❷官连俫	処分量当たり	kg-CO₂/百トン	37	31	16%削減
⑤ ガソリン		総量	kg-CO <sub>2</sub> /年	16,763	16,586	0
<b>9</b> 0000		処分量当たり	kg-CO₂/百トン	33	31	6%削減
4軽油		総量	kg-CO <sub>2</sub> /年	103,701	107,870	0
<b>9</b> 軽油		処分量当たり	kg-CO₂/百トン	206	203	1%削減
<b>5</b> 重油		総量	kg-CO <sub>2</sub> /年	0	0	
10里油		処分量当たり	kg-CO₂/百トン	0	0	O
			3 (4-)	1.040	1 000	×
<b>⑥</b> 上水道使用:	里		(㎡/年)	1,048	1,298	24%超過
<b>の</b> LPガス使用	旦 里		kg-CO <sub>2</sub> /年	-	128	-
❸廃棄物排出	里 里		( t /年)	-	1	-
④化学物質使用	用量		( t /年)	-	-	-
●受託した廃棄	<b>建物処分量</b>		( t /年)	-	53,081	-
❶処分場の早	期安定化		-	-	-	-

#### 注)

- ・電力のCO2排出係数は、電気事業者別排出係数関連へージ(環境省)を引用。 https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc
  - ·九州電力送配電㈱(2023年4月~12月) 排出係数 0.434 kg-CO2/kwh
  - ・ミツウロコグリーンエネルギー(株)(2024年1月~) 排出係数 0.395 kg-CO2/kwh
  - ・化石燃料のCO2排出係数は、環境省のデータを引用。 https://www.env.go.jp/content/900443021.pdf

## 5. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

◆2023年度の取組み結果とその評価

項	目	CO2排出 割合	取組み結果と評価
二酸化炭素総	<b>禁</b> 出量	100%	2023年度の総排出量は、目標値に対し8%の超過となった。当社事業によるCo2排出量の約半分を占める電力使用が、大幅に増加したことによるもので、降雨量の影響が大きかったと考える。水処理施設負荷の平準化や、低減に向け、雨水排除の取組み強化、浸出水原水の水質改善につながる、最適な処分場管理に継続して取り組んでいく。
<ul><li>● 処理棟</li><li>電力使用量</li><li>②管理棟</li></ul>		51%	処分場内の雨水排除に取組んでいるものの、夏季の降雨量が多かったことにより、浸出水量も増加。水処理施設の稼働率が上がり、浸出水処理に時間を要したことから、電力使用量が目標値を超過する結果となった。水処理施設の負荷低減に向け、シートキャッピングによる雨水排除の取組みを継続していく。
		6%	冷暖房機器の適正温度設定、定期的な清掃、クールビズ・ウォームビズ等を実施し節電に取り組んだ結果、目標値に対し16%の減となった。今後も節電の取組みを粘り強く継続したい。
❸ガソリン使用量		6%	年度目標値の6%削減を実現した。車両使用者がエコドライブを 心がけたこと、また草刈り作業の負荷低減をはかるため2023年 度から採用した「抑草剤散布」により刈払い機使用頻度も低減で きたことも要因の一つと考えられる。
❹軽油使用量	Ė	37%	埋立の進捗が進むにつれ重機作業エリアが年々拡大していく中、 効率的な埋立処分計画により、目標値の1%削減を達成すること ができた。引続きエコ運転の実施と、効率的な埋立作業で、軽油 使用量の削減に努めたい。
<b>⑤</b> 重油使用量	İ	0%	浸出水処理施設の最適運転、環境負荷を抑えた操業により、 2023年度も重油の使用は無かった。今後も設備の最適な維持 管理を継続すると共に重油の適正使用・管理に取り組みたい。
❸上水道使用	]量	_	水道使用量増加が続くことから、設備点検を実施したところ、事業所内水道管の破損が確認され、2024年1月に補修工事を行った。修事繕後の水道検針では、前回検針から使用量がの約45%削減されたことを確認。引続き使用量を経過観察したい。
<b>⑦</b> LPガス使用	]量	_	ガス給湯器の使用は、温水を出しっぱなしにせず、こまめに調整する
③廃棄物排出量		_	新聞紙・ペットボトル・空き缶・空き瓶等のリサイクル可能なものを 分別し、資源化。今後も分別、リサイクルに取り組みたい。
<b>③</b> 化学物質使用量		_	PRTR制度対象物質を含む薬品の使用は無かったものの、引き 続き薬品の適正使用・管理に取り組みたい。
●受託した廃	棄物処分量	_	受託した廃棄物処分量は53,081tであった。廃掃法に基づいた 適正受託、埋立処分に今後も継続して取り組む。

#### ◆2024年度の取組み内容

二酸化炭素排出量は、事業の推移に伴って変化。各項目の二酸化炭素排出量基準値の合計を 年間基準値とし、環境目標値は各項目の目標値の合計より1%削減を目標値とした。各環境活動を 実施し、二酸化炭素排出量削減に取り組む。また、半期経過後に、取組内容の見直しを検討する。

		<b></b>		基準値	環境経営目標値
	,	項目		(2023年度実績)	2022年度~2024年度
☆二酸化炭	≌≢₩山旱	総量	kg-CO <sub>2</sub> /年	290,925	前年度比 ▲1%の削減
	<b>以糸饼</b> 山里	処分量当たり	kg-CO₂/百トン	547	削牛及比 ▲1900削減
	●水処理施設	総量	kg-CO <sub>2</sub> /年	149,846	前年度比 ▲1%の削減
   電力	<b>U</b> 水処理他故	処分量当たり	kg-CO₂/百トン	282	削牛及比 ▲1900削減
电刀 	2管理棟	総量	kg-CO <sub>2</sub> /年	16,495	前年度比 ▲1%の削減
	<b>少</b> 官连悚	処分量当たり	kg-CO₂/百トン	31	削牛及比 ▲1900削減
<b>9</b> ±`\/\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		総量	kg-CO <sub>2</sub> /年	16,586	前年度比 ▲1%の削減
③ガソリン		処分量当たり	kg-CO₂/百トン	31	削牛及比 ▲1900削減
4軽油		総量	kg-CO <sub>2</sub> /年	107,870	前年度比 ▲1%の削減
母輕油		処分量当たり	kg-CO2/百トン	203	削牛及比 ▲1900削減
<b>A</b> 垂油		総量	kg-CO <sub>2</sub> /年	0	前年度比 ▲1%の削減
<b>⑤</b> 重油		処分量当たり	kg-CO₂/百トン	0	削平及比 ▲1%の削減
<b>6</b> 上水道惊	使用量		(㎡/年)	1,298	前年度比 ▲1%の削減
<b>⑦</b> LPガス排	非出量		kg-CO₂/年	128	_
❸廃棄物係	使用量		(t/年)	1	_
<b>⊙</b> 化学物質使用量			( t /年)	0	_
●受託した	:廃棄物処分量		( t /年)	53,081	_
<b>①</b> 処分場の	D早期安定化		_	_	-

※2024年度環境経営目標の基準値については、直近年度(2023年度)実績とし、

目標値は以下のとおり。(2023年度処分量:530百トン)

- 各項目の目標値は、基準値に対し▲1%を削減目標とする
- 廃棄物の分別に取り組み、リサイクル可能なものは100%リサイクルを目指す。
- 化学物質の使用量を毎月記録し、適正な使用・管理を継続する。
- 受託した産業廃棄物は、処分基準を遵守し、当社処分場適正処分する。

## 6. 環境保全活動

当社施設内はもちろん、周辺道路や近隣地域の環境保全に取り組んでいます。



場内植樹 • 花壇







周辺道路の清掃





## 7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

法規(名称)	遵守事項	遵守状況
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	産業廃棄物処理業及び処理施設に関する事項 ・業の許可(更新5年毎) ・廃棄物の受入基準の遵守 ・廃棄物の埋立処分の基準の遵守 ・マニフェストの処理、管理義務の遵守	遵法
土壌汚染対策法	汚染土壌処理施設に関する事項 ・業の許可(更新5年毎) ・汚染土壌の受入基準の遵守 ・汚染土壌の埋立処分基準の遵守 ・管理票の処理、管理義務の遵守	遵法
大気汚染防止法 騒音規制法 振動規制法 悪臭防止法	産業廃棄物処理施設の設置及び維持管理に 関する事項 •大気汚染、粉じんの防止 •騒音、振動、悪臭の防止	遵法 ※測定が必要な特定 施設ではなく、 近隣からの指摘等も ない。
浄化槽法	年1回法定検査。検査書の保管。	遵法
道路運送車両法	環境保全上の基準の遵守	遵法
フロン排出抑制法	簡易定期点検 3ヶ月毎 定期点検 3年1回	遵法

#### ◆法規改訂確認

確認日 2024年 3月31日 確認者 久保 治美承認日 2024年 3月31日 承認者 宮後 靖浩

#### ◆遵守状況の確認・評価及び違反・訴訟等の有無

- 環境関連法規の違反はありません。
- 関連当局および近隣地域からの指摘・訴訟等はありません。

#### ◆環境コミュニケーション

- 2023年 5月「2023NEW環境展(東京ビッグサイト)」を視察(6名)、セミナー聴講(1名)
- ・2023年 9月「第34回廃棄物資源循環学会研究発表会(大阪)」に出席・聴講(2名) 地域にお住まいの方を対象に下記イベントを開催。
- ・2024年 4月「ERCウォーキング大会&処分場見学」開催
- -2024年 8月「2024年度 会社概況説明会」開催予定

## 8.代表者による全体評価と見直し・指示

評価日	2024年	7月	8日	
-----	-------	----	----	--

	評価及び見直しに必要な情報	代表者による全体評価	代表者の指示
環境経営方針	<ul><li>① 環境経営方針に示された環境への取組の基本的な方向性は適正か?</li><li>② 環境経営方針に沿ったEA21への取組は効果的か?</li></ul>	「環境経営方針」は当社の存在意義を明確にし、より企業価値を高めるための方向性を定めており、この方針を基盤とすることにより、EA21に効果的に取り組むことが可能となる。	地域、取引先の皆様を含めたステークホルダーから、より信頼いただける事業を目指し、引き続き「環境経営方針」のへの取組み、定期的な確認をお願いします。
環境経営目標· 環境経営計画	① 環境経営目標、環境経営計画状況は妥当か?  電力使用量(処理棟) CO2排出量 電力使用量(管理棟) (省エネ) ガソリン使用量 軽油使用量  上水道使用量(節水) 廃棄物排出量(リサイクル) 化学物質使用量(適正使用) 受託した廃棄物処分量及び、適正処理 その他の項目	環境経営計画に基づき、全社員が環境負荷を意識して継続的に取り組んでいる。 残念ながらCO2排出量は2022年度と比較し増加しており、大きな要因である水処理施設において、降雨量増加に影響を受けない、雨水排除への対応が引き続き必要である。上水道使用量増加については、漏水対策を実施しており、引き続き節水に努める。一方、燃料類(ガソリン、軽油)については、処分量当たり使用料は目標を達成し、環境経営計画の取組みが結果に繋がっており、評価したい。	各項目ごとに2023年度取り組み結果を評価・分析し、2024年度環境経営目標値の達成に向け、具体的な取り組みを計画・実行してください。
その他の環境経営システム	① 環境負荷に大きな変化はないか ② 環境関連法規等の遵守状況 ③ 実施体制は効果的か ④ 教育訓練は実施されてるか ⑤ 外部からの苦情や要望はないか ⑥ 実施及び運用は適切か ⑦ 緊急事態の準備と訓練は適切か ® 取組状況の確認は適切か	適切な処分場運営、設備の維持管理により環境負荷に大きな変化はなかった。 関連法令・条例等遵守し、活動の取り組みを適切に実施できている。 社員に対しても、朝礼等を活用し情報の発信、共有化を図っている。	安全・安心な処分場事業を継続 するため、引き続き定期的な確 認を実施してください。

#### Ⅱ. 前回の指示への取組結果

1. 前回の指示・の規範和未				
	前回の代表者からの指示	指示に対する取組み結果		
環境経営方針	環境経営方針に挙げた重点目標は、当社のみで実現できるものばかりではなく、地域とのコミュニケーション、取引先様との共有に必要な情報発信に努めること。	・地域への会社概況説明、ウォーキング大会&処分場見学を継続的に 実施。 ・取引先様への訪問、処分場ご案内による情報発信を実施。		
環境経営目標 および 環境経営計画	当社の事業活動において、環境への負荷が大きなものに対する低減に向けた取り組みに的を絞って、実現可能な具体的取組みを計画・実行すること。	・水処理施設の電気使用量については、天候に大きく影響を受ける ため、雨水排除を検討し着手。		
安定的に事業を継続するため、また、災害などの緊急事態に その他の環境 備えた取組み(教育・訓練など)継続維持すること。		・継続的に実施。		

株式会社イー・アール・シー高城 代表取締役 芳野 真弘